

I 型糖尿病とは

◆糖尿病には一般的には生活習慣病と呼ばれる”II型糖尿病”と自己免疫機能の異常で起こる”I型糖尿病”があります。

◆I型糖尿病は免疫機能が異常を起こし、すい臓のインシュリンを作る細胞(ベータ細胞)を破壊し体内でインシュリンを作れなくなる病気で周りの人にうつったりすることはありません。

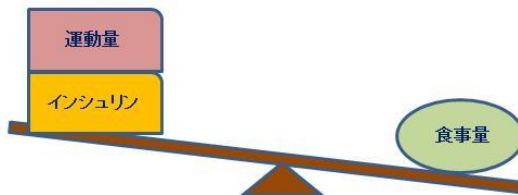
インシュリンが不足すると血液中の糖を分解できなくなる為血糖値が上昇します。

そのため、毎日3~5回血糖値を測定しインシュリンを注射することで血糖値をコントロールしていますが、その副作用として

血糖値が高い状態(高血糖)

血糖値が低い状態(低血糖)になることがあります。

【高血糖】(血糖値140以上)



【高血糖の症状】

- ・のどが渇く
- ・トイレが頻繁になる

【低血糖】(血糖値70以下)



【低血糖の症状】

軽度の場合(血糖値50~70)

- ・集中力がなくなる
- ・力が入らなくなる
- ・ふらつく

重度の場合(血糖値50未満)

- ・立っていられなくなる
- ・強い眠気
- ・突然泣き出す
- ・痙攣

低血糖の症状が出た場合なるべく早く補食を取り、不足している糖분을補う必要があります

☆先生方へのお願い☆

◆低血糖になっていないかを気にしてもらいたい

低血糖の起こりやすい時間と条件

- ・昼食前(3～4時限目)
- ・昼食前に下校する時
- ・給食が食べれなかった時
- ・食べたものを戻した時

低血糖時には

補食を食べさせて休憩させてください。
5～15分程度で回復すると思います。

◆測定具と補食の保管をお願いしたい

- ・登校後注射と測定具を先生に預かってもらう
- ・下校前に注射と測定器を受け取り、様子を見てもらう
- ・予備の注射と測定具を学校に置かせてもらう

◆昼食前に血糖値測定とインシュリン注射を落ち着ける部屋を確保してもらう

運動会の練習、プール、遠足、校外の行事などによっては注射や補食が必要な場合がありますので、事前に連絡をお願いします。
特別扱いせず全ての学校行事に参加させてください。
低血糖の症状が出た場合は連絡してください。

☆本人がすること☆

◆昼食前に血糖値測定をインシュリンを注射する

◆低血糖かもしれない場合は先生に連絡して血糖値を測定する 血糖値が低い場合は補食をする

岡山つぼみの会へリンク ⇒
教員の方向け動画 ⇒

<http://okayamatubomi.web.fc2.com/index.html>
http://japan-iddm.net/movie_forschool/